



MS341-60001/2/3/4 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-60001-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	ランドクルーザー プラド '17.08~ LED有仕様
MS341-60001-C0	ブラック (202)	
MS341-60002-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	
MS341-60003-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	ランドクルーザー プラド '17.08~ LED無仕様
MS341-60003-C0	ブラック (202)	
MS341-60004-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

品名	個数	備考
フロントスポイラー	1	
タッピングスクリュー	4	6 × 15
グロメット	4	
タッピングスクリュー	2	6 × 30
ゴムワッシャー	2	
ワッシャー	2	
タッピングスクリュー	2	5 × 16
Jナット	2	
型紙	1	
取付・取扱要領書(本書)	1	本書

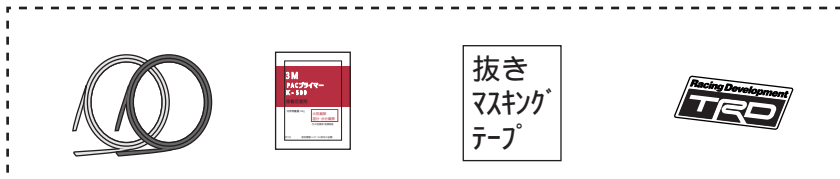
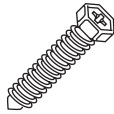
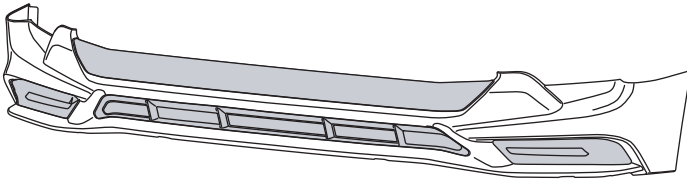
確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。
以下、MS341-60002/4-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	個数	備考
モール	(各1)	黒/グレー L = 640mm
PACプライマー	1	K-500
抜きマスキングテープ	(各1)	3種類R/L
エンブレム	1	

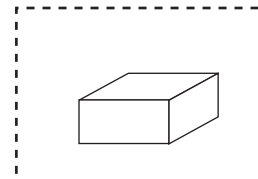
以下、MS341-60001/2-**(LED有仕様)のみに同梱

品名	個数	備考
LEDキット	1	

■ 構成部品図



は未塗装品にのみ同梱



はLED有仕様にのみ同梱

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

⓪ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ⓪ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ⓪ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ⓪ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ⓪ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ⓪ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⓪ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ⓪ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⓪ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ⓪ 本商品の両面テープは、環境温度が20以下(低温時には)接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⓪ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ⓪ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ⓪ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ⓪ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ⓪ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ⓪ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

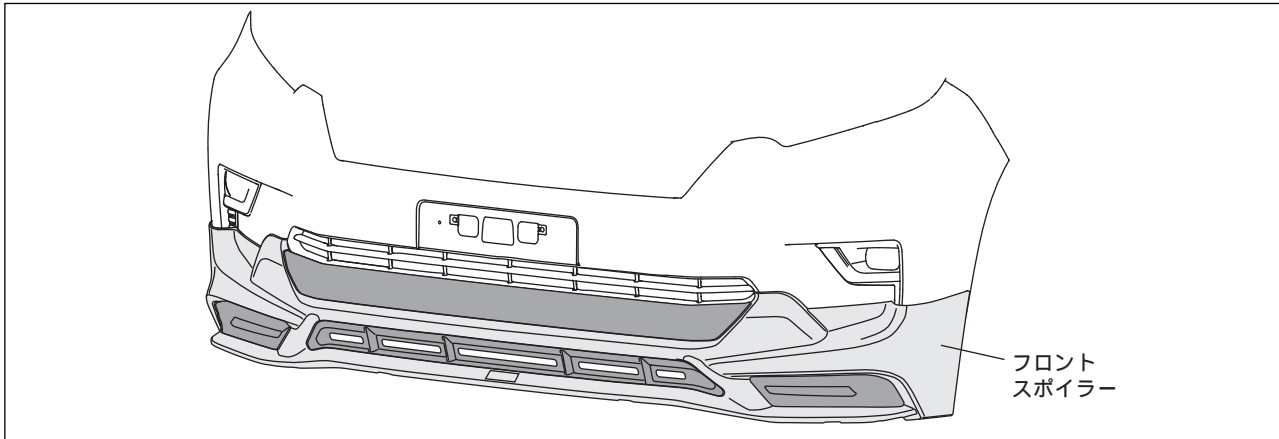
目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1 ~ 2
2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要領 4 ~ 1 2
5. 取付け後の確認・点検 1 2

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、エアソー、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(I P A)・清潔なウエス

取付構成図

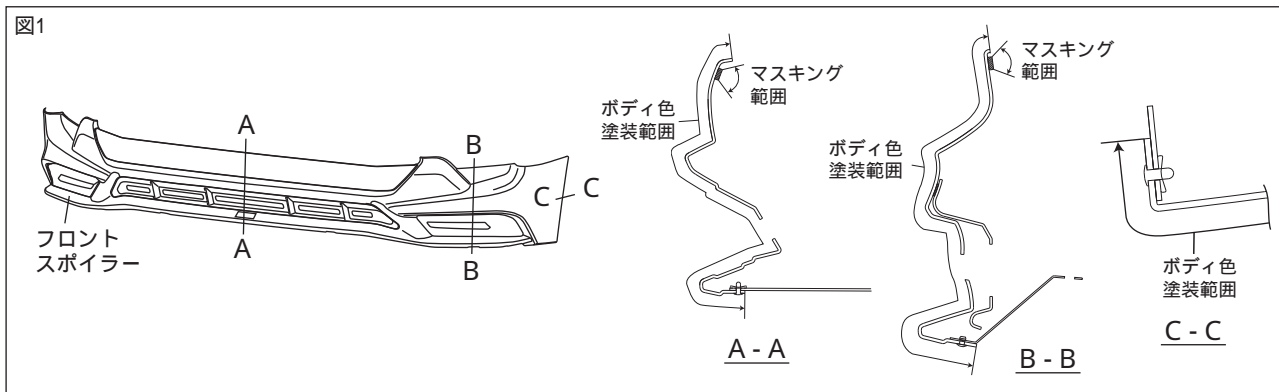


未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

フロントスポイラーの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図1のようにフロントスポイラー をボディ色で塗装する。

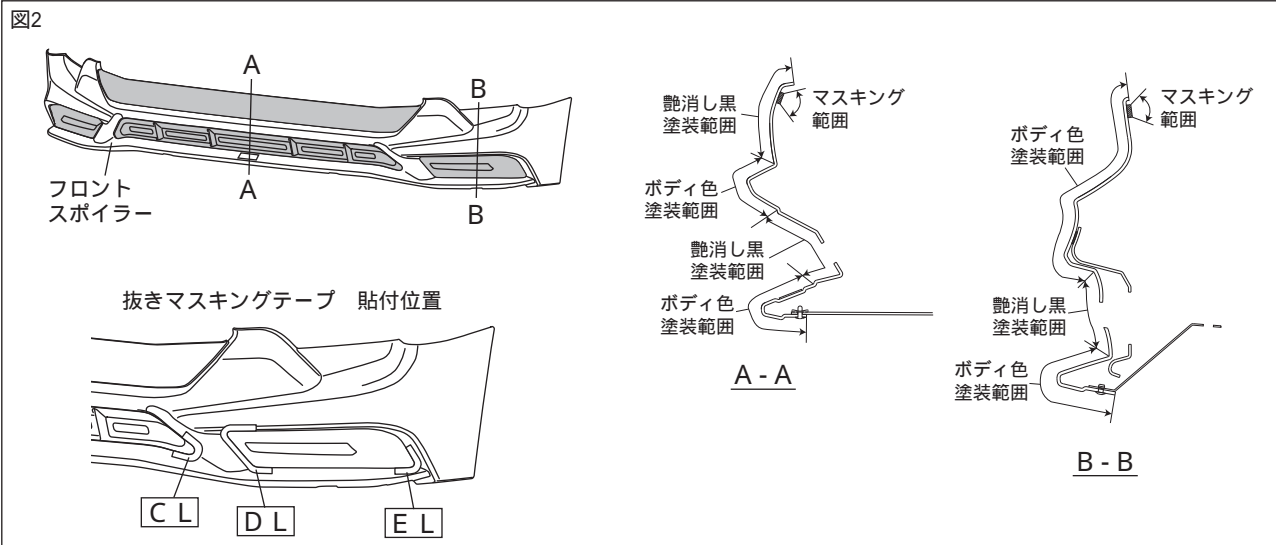
⚠注意：脱脂をする場合は、I P A又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

ツートン塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



2. 図2のようにボディ色塗装範囲をマスキングし、艶消し黒(グロス10)で塗装する。

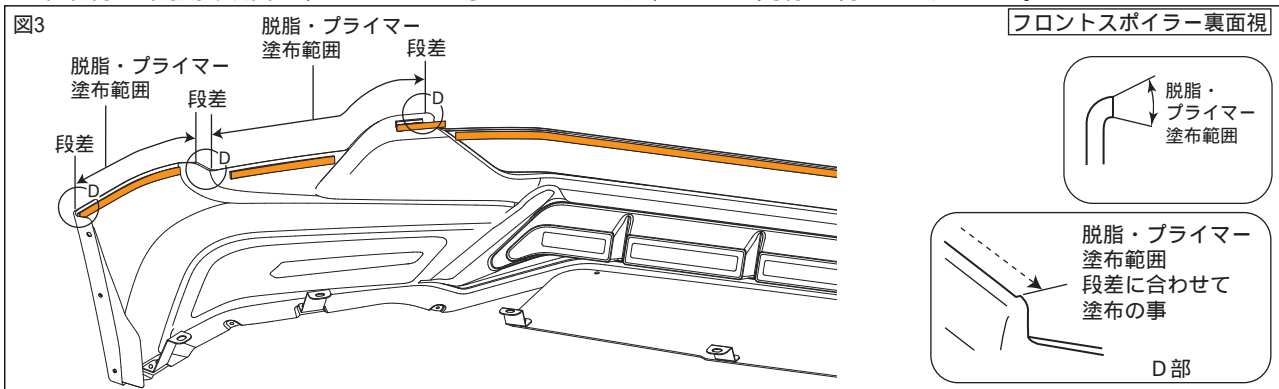
△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

モールの貼付け

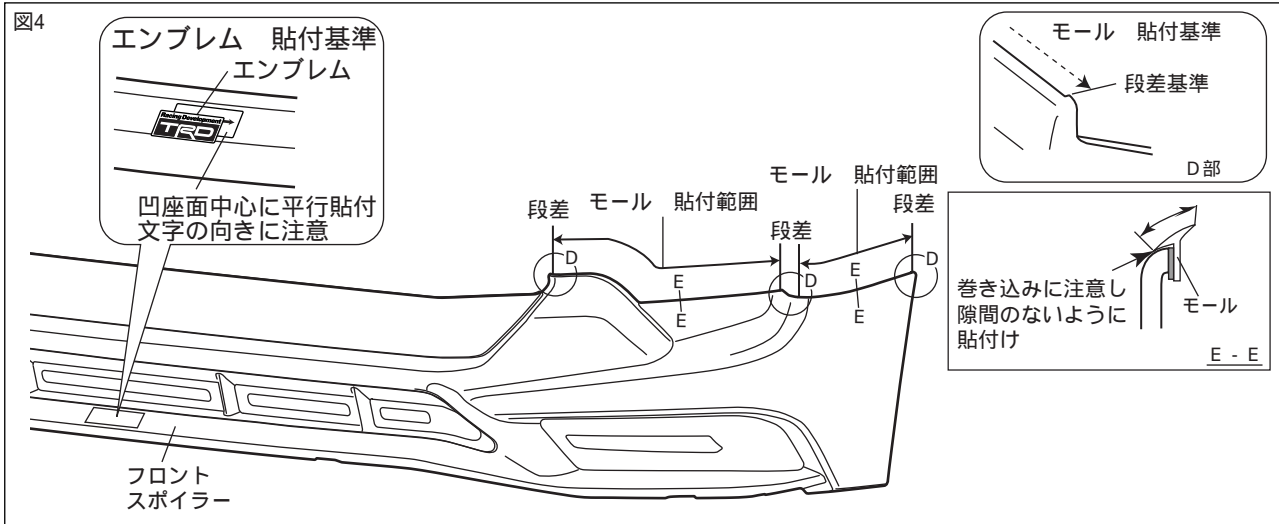
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



3. 図3のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



4. 図4のようにフロントスポイラー に、モール の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。
{ 49N (5 k g f) 以上 }
5. 図4のように脱脂した座面にエンブレム を貼付ける。

アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

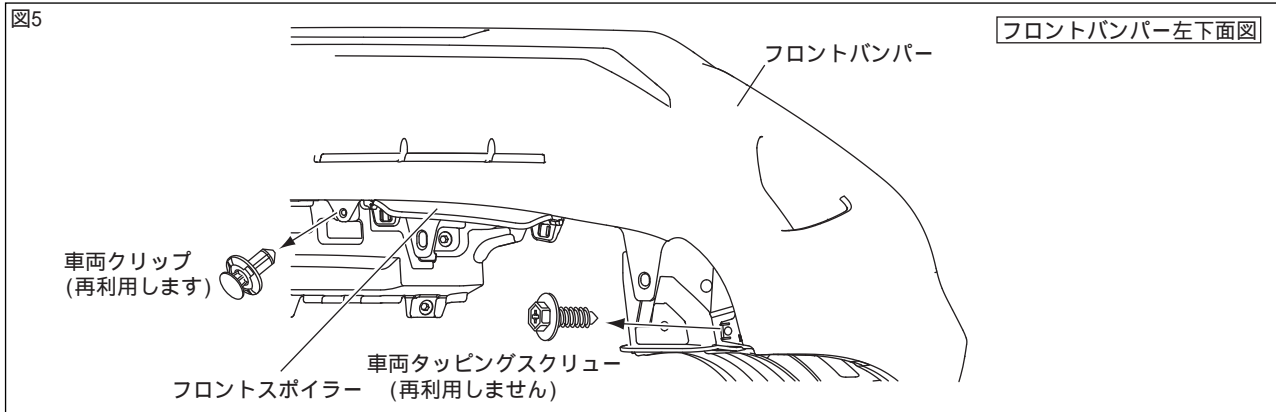
注意：モール は、二色同梱されています。下記の推奨カラー表を参照してください。

モール設定 推奨カラー表

カラー	カラー名	推奨モール色
040	スーパーホワイト2	グレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	グレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1G3	グレーメタリック	ブラック
202	ブラック	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
221	ブラキシアゲハガラスブルー	ブラック
3R3	レッドマイカメタリック	ブラック
4V8	アパングャルトブロンズメタリック	グレー

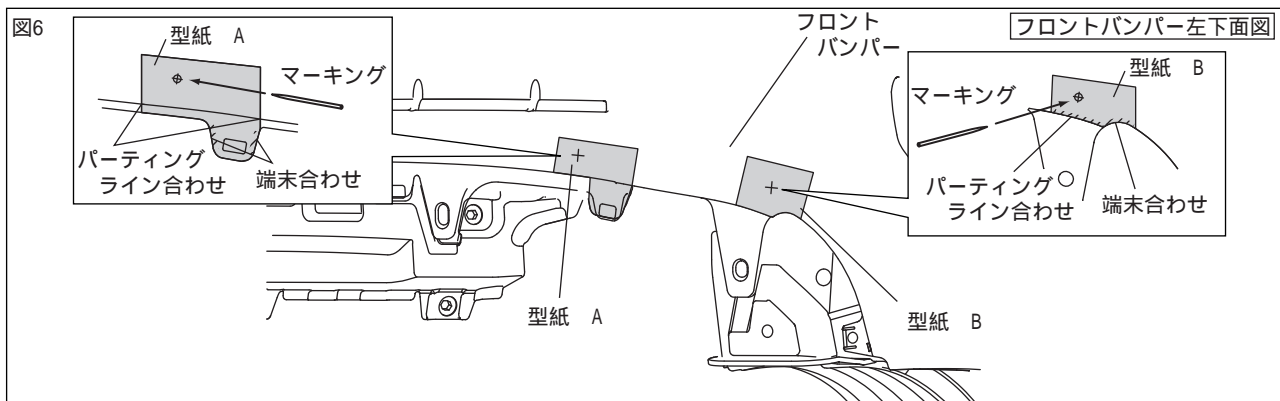
取付準備

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

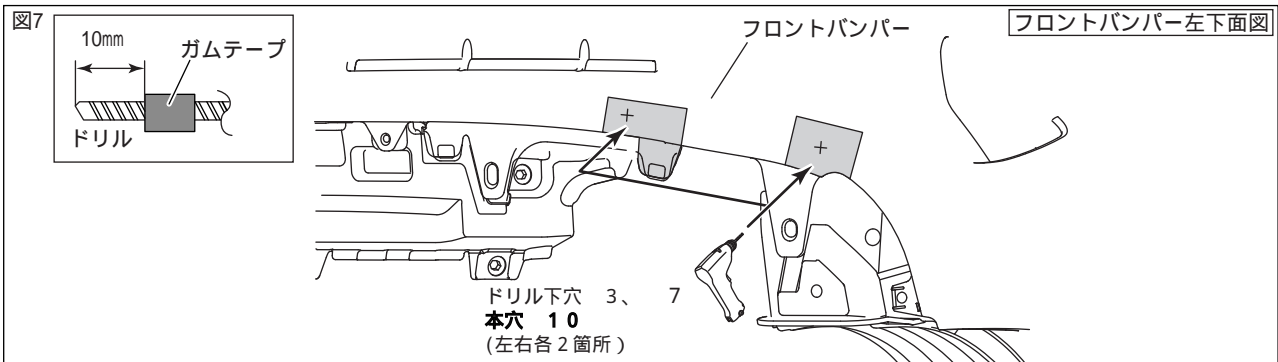


1. 該当車両の修理書に従い、図5のようにフロントバンパーからフロントスポイラーとクリップと車両タッピングスクリューを取り外す。(左右各1箇所)

⚠注意：取外したフロントスポイラー・車両クリップは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



2. 型紙 A/Bを剥がし、図6のようにフロントバンパーに貼付け、マーキングする。(左右各2箇所)
3. フロントバンパーから型紙を剥がす。

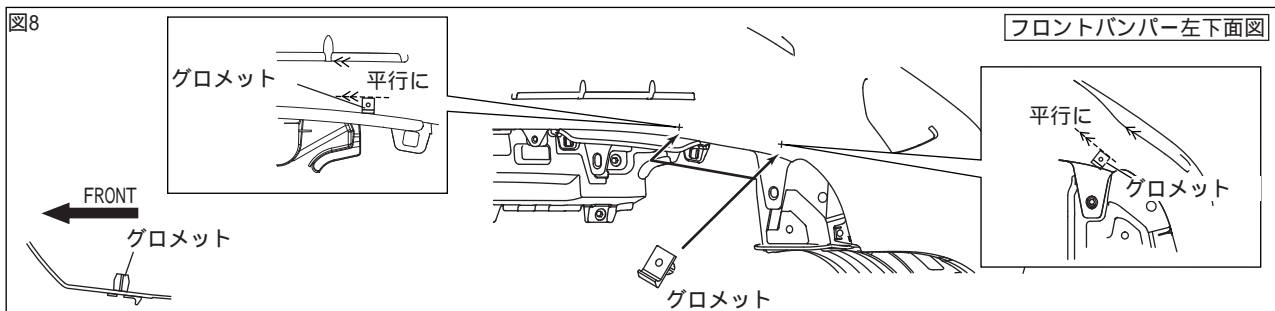


4. 図7のように 3、7、10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3、7のドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(左右各2箇所)
5. 図7のように 10のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各2箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

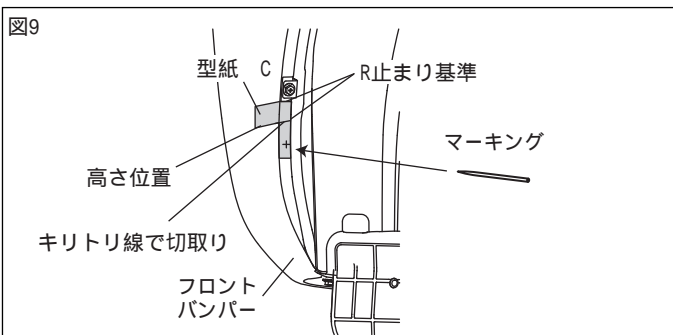
⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

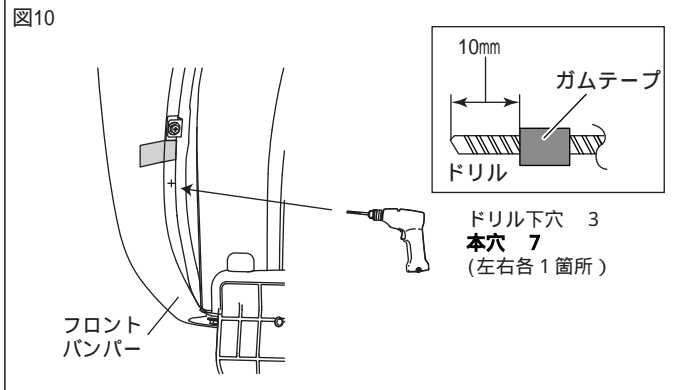


6. 図8のように前作業で穴あけ加工をした穴にグロメットを差し込む。
(左右各2箇所)

⚠️ 注意：図のようにグロメットの差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとフロントスポイラーが取付かなくなります。



7. 型紙 Cを剥がし、図9のようにフロントバンパーのホイールハウス端末部に合わせて貼付け、マーキングする。
(左右各1箇所)



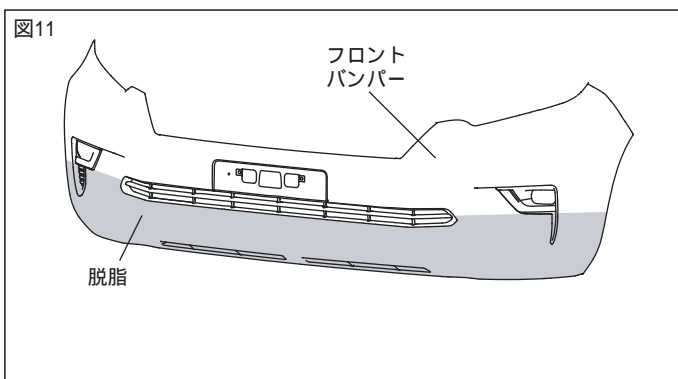
8. 図10のように 3、7のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3のドリルでマーキング位置に下穴を開ける。
(左右各 1箇所)
9. 図10のように 7のドリルを使用して本穴を開け、穴のバリを取り除く。
(左右各 1箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意して行ってください。

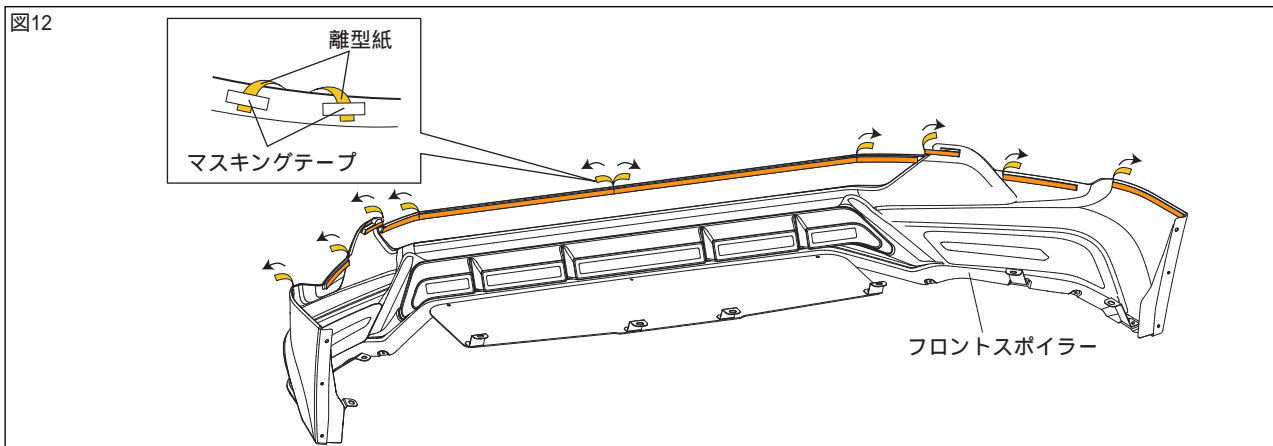
LEDデイトムランプの取付けは、LEDデイトムランプ取付要領書に従い、取付け作業を行ってください。



10. 図11のようにフロントスポイラー 取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

👉 アドバイス：脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

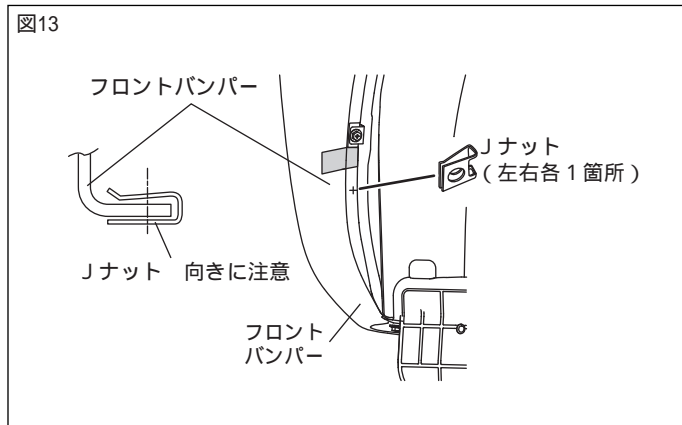
👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



11. 図12のようにフロントスポイラー の離型紙を、中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各 5箇所)

⚠️ 注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図13

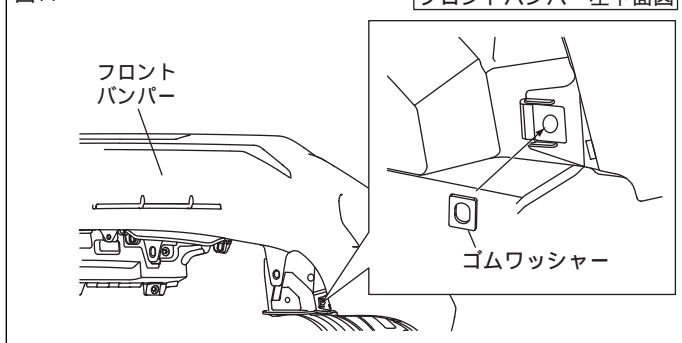


12. 図13のようにフロントバンパーホイールハウス部にJナット を差し込む。
(左右各1箇所)

⚠注意：Jナット の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー が取り付けかなくなります。

図14

フロントバンパー左下面図

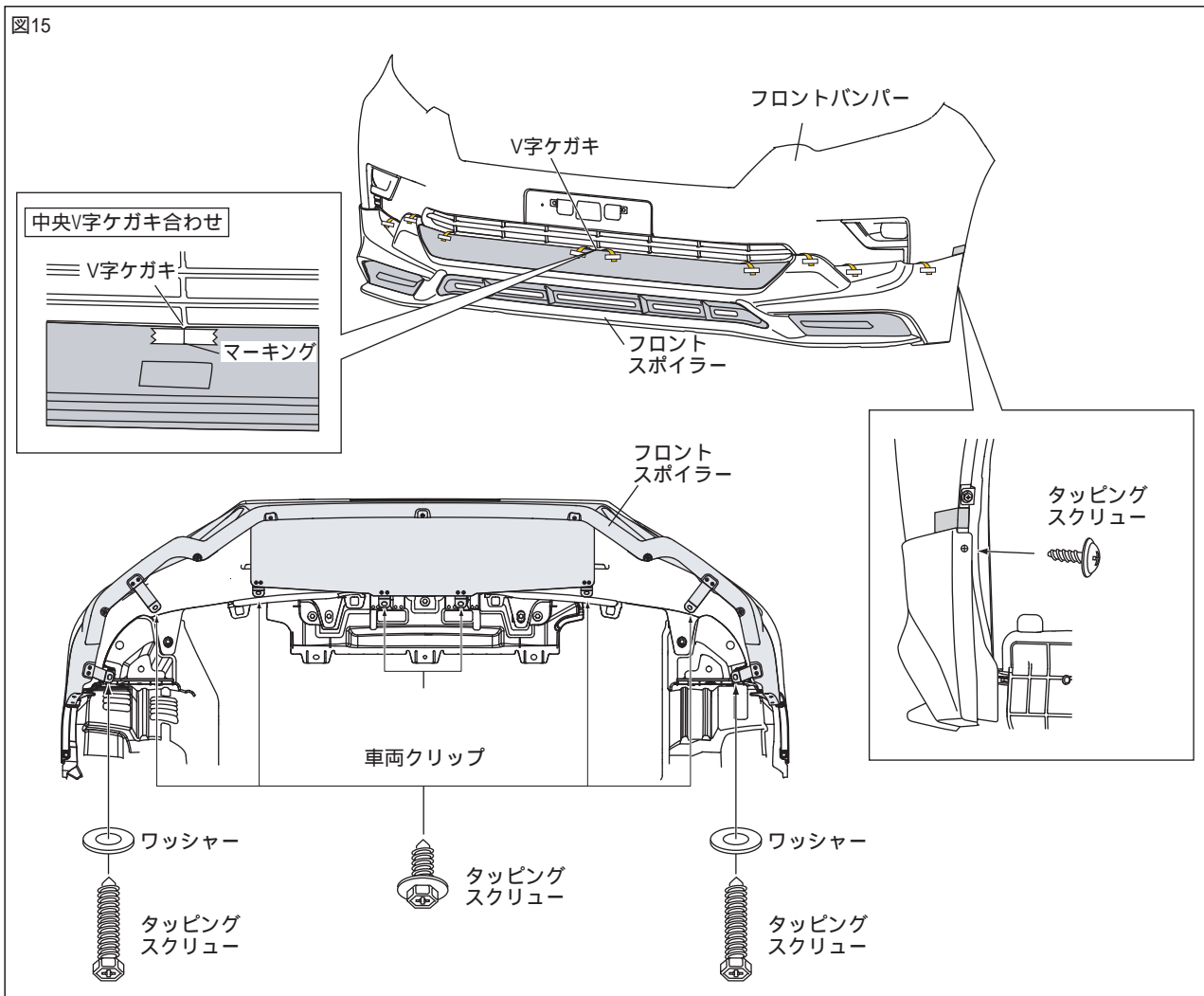


13. 図14のようにフロントバンパーホイールハウス部の下側にゴムワッシャー を貼り付ける。
(左右各1箇所)

取付要領

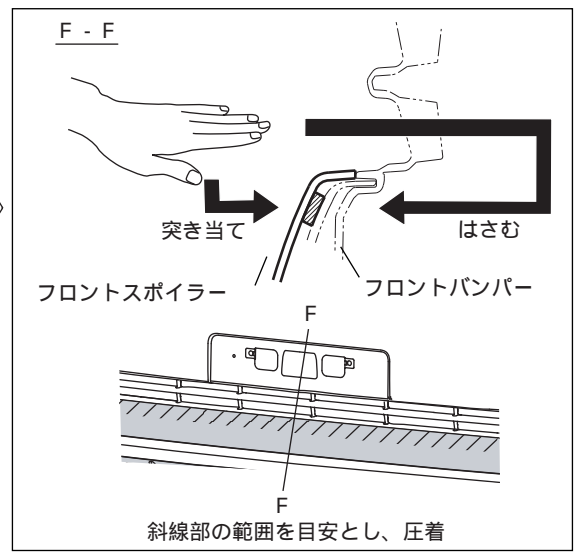
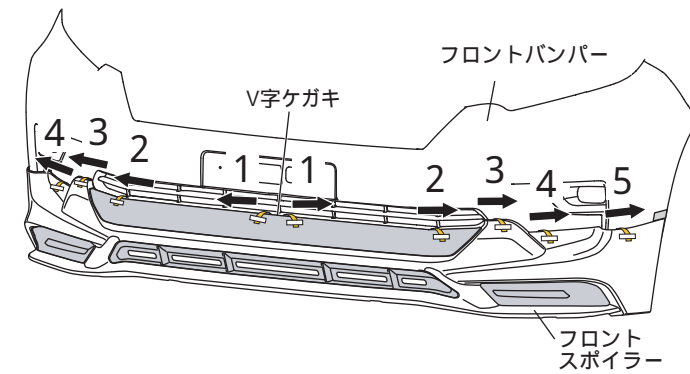
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図15



1. 図15のようにフロントバンパー中央とフロントスポイラー 中央部のV字ケガキを合わせてかぶせる。
2. 図15のようにホイールハウス部のフロントスポイラー を車両タッピングスクリューで仮締めをする。
(左右各 1箇所)
3. 図15のようにフロントスポイラー 下面を車両クリップとタッピングスクリュー とワッシャー を挟んだタッピングスクリュー で本締めをする。
(左右各 4箇所)

図16



4. フロントスポイラーのセンターとロアグリルの間に、左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
{ 49N (5kgf) 以上 }
 (左右各5箇所)

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

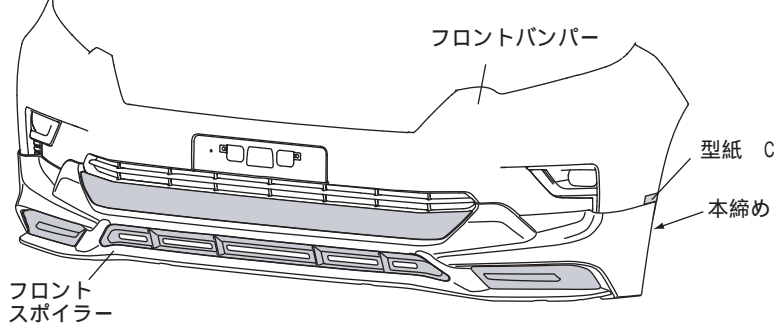
⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

図17



5. 図17のようにホイールハウス部のタッピングスクリュー (左右各1箇所)を本締めする。
 6. 型紙 (左右各1箇所)を剥がす。

取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがタッピングスクリュー、クリップにて、車両に確実に取付けられていることを確認する。
2. フロントスポイラー及び車両部品にキズなどが無いことを確認する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両のランプ類等の機能点検を行う。
5. 作業完了後、車両修理書に従い各種センサー類・灯火類等の再設定を行う。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
<http://www.trdparts.jp/>





81430-DJ100 LEDデイトイムランプ

取付・取扱要領書

この度はTRD LEDデイトイムランプをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には上記商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません。必ず車両登録後に行ってください。

■品番・適合一覧表

品番	適合	備考
81430-DJ100	MS341-60001/2	ランドクルーザー プラド '17.08~

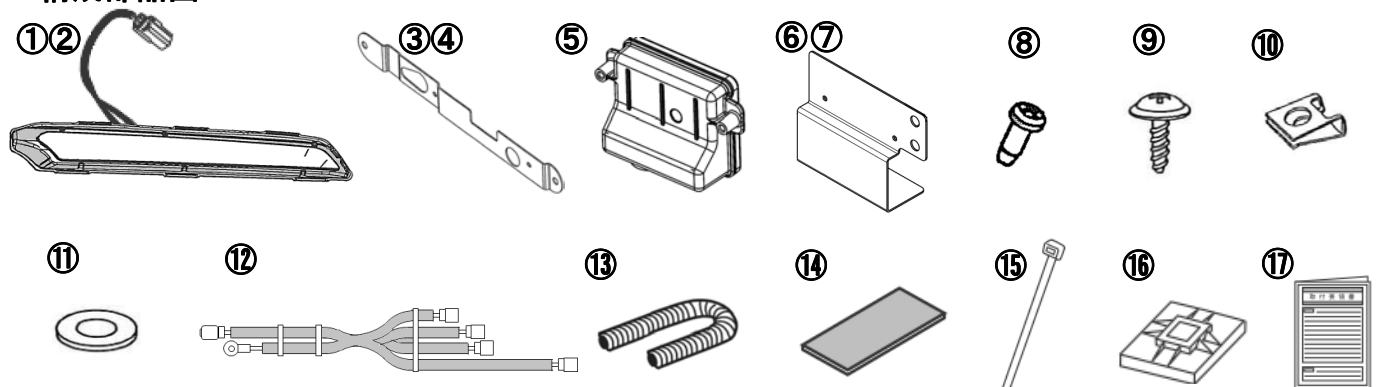
*本商品はフロントスポイラー（MS341-60001/2）に装着する専用部品となります。

*本書は、LEDデイトイムランプを装着するための要領を記載しています。

■構成部品

No.	部品名	個数	備考
①	LEDランプ RH	1	
②	LEDランプ LH	1	
③	ランプリテナーRH	1	LEDランプ用
④	ランプリテナーLH	1	LEDランプ用
⑤	ランプユニット	2	左右共通
⑥	ユニットブラケットRH	1	
⑦	ユニットブラケットLH	1	
⑧	タッピングスクリューA	8	M4×10 LEDランプ・ユニット用 共通
⑨	タッピングスクリューB	4	M5×16 スポイラー取付け用
⑩	Jナット	4	M5 スポイラー取付け用
⑪	スペーサー	4	
⑫	ハーネス	1	
⑬	コルゲートチューブ	1	L=200
⑭	スポンジテープ	8	50×100
⑮	結束バンド	12	L=150
⑯	結束バンドベース	6	20×20
⑰	取付・取扱要領書	1	本書は大切に保管してください。

■構成部品図



取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）

ご使用になる前に必ずお読みいただき、正しいお取扱いをお願いいたします。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。



注意

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を受けたり、物的損害の可能性がある内容について書かれています。



やってはいけないこと



必ずおまもりいただきたいこと



警告

- 本商品への加工や改造は絶対に行わないでください、破損や事故の原因となります。
- ❗ 本商品を装着後に衝突や強い衝撃を受けた場合、取付け部位や本体に変形・破損・故障が生じる場合がありますので、直ちに使用を中止して、専門の修理工場かトヨタの販売店にて点検を受けてください。
- ❗ ご使用中に異常な振動や異音を感じたら、直ちに安全な場所にクルマを停車して専門の修理工場かトヨタの販売店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、クルマの破損や重大な事故の原因となります。
- ❗ 本商品は舗装道路での走行を想定して作られています。悪路や雪道での走行時は、速度を十分に落として注意して走行してください。
- ❗ 本商品は、通常のご使用において十分な強度・耐久性を持たせてありますが、お取り扱い方法や走行条件によっては、破損や故障が発生する場合があります。本書の注意事項をまもってご使用ください。
- 本商品の近くに高温になるものや、裸火を近づけないでください。変形や火災などの原因となります。



注意

- ❗ 本商品は保安基準に適合しておりますので、車検の際も通常の検査と同様にお受けいただけます。ただし、その他の部位を改造している場合など、車両の状態によりその限りではありません。
 - ❗ お手入れの際に、シンナー・ガソリン・ベンジン等の有機溶剤は絶対にご使用にならないでください。製品の変形や塗装のハガレなどの不具合の原因となります。
 - ❗ 洗車の際は、ゲート式洗車機や高圧洗浄機（スチーム等）などのご使用はお控えください。ご使用されますと製品の取付け部に無理なチカラが掛かり、ハガレやウキ・破損の原因となります。
 - ❗ フラップ式（跳ね上げ式）のコインパーキングなどにクルマを駐車する際は、駐車場のフラップ板が製品に干渉しないか十分に確認してください。干渉があると破損の原因となる場合があります。
 - ❗ 本商品を装着した場合、地上高や外装が標準車と異なりますので、道路の縁石や駐車場の輪留めなどに干渉する場合があります。クルマの取り回しには十分にご注意ください。
 - ❗ 洗車時や車の乗り降りの際、保管環境等で、製品に無理なチカラや荷重が掛からないようにご注意ください。製品のハガレやウキ・破損の原因となる場合があります。
 - ❗ 寒冷時の走行や海辺などを走行した際に、クルマに融雪剤（塩化カルシウム等）や塩分が付着した場合は、お早めに洗浄除去するようにしてください。付着したままにするとシミやゴム類の劣化の原因となります。
 - ❗ 走行や取扱いにより発生した外的要因（*1）が原因の製品不具合や、それにより車両本体等への損傷が発生した場合のクレームには応じかねます、あらかじめご了承ください。
- （*1） 飛石・塩害・酸性雨・鉄粉・鳥糞・煤煙・降灰・薬品等の飛沫 及び、台風・水害・高潮・地震噴火等の天災などの事故

■本商品は1年・20,000kmの保証を実施いたします。（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

■不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

取付け・取扱い上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みのうえ、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。



注意

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと人が傷害を受けたり、物的損害の可能性がある内容について書かれています。



アドバイス

スピーディに作業していただくうえで知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行うこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。

破損や故障により重大な事故の原因となる可能性があります。

- 取付け作業は、必ずエンジンやマフラーなどが冷えていることを確認して行ってください。
エンジンルームやマフラーなどが熱い状態での作業は、ヤケドや思わぬケガをするおそれがあります。
- 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止して、車両が動かないことを確認して行ってください。
予期せずに車両が動き、体を挟むなどの重大な事故の原因となります。
- 取付けの際は、規定トルクに従って、取付けボルト・ナット類を締付けてください。
取付け時に緩みがあると徐々に緩んで、脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。
また締付トルクが過大だとボルトやナットを破損するおそれがあります。
- 取付け後、本商品と車両や車両部品との干渉が無いことを確認してください。

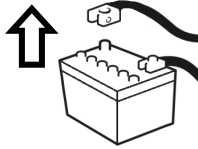


注意

- 本商品の取付け・交換は必ずトヨタ販売店及び、専門の修理工場にて行ってください。
- 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部を保護材にて養生をしたうえで作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ⊘ 本商品の取付けで清掃・脱脂の際にシンナーやベンジン等の、有機溶剤の使用は絶対に行わないでください。
変色や変形の原因となります。
- 脱脂作業を行う際は火気に十分注意し、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）をご準備いただき確実な脱脂（油脂分の除去）を行ってください。上記以外のパーツ・ブレーキクリーナー等、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。ハガレやウキの原因となります。
- 本商品に塗装をする際は、乾燥温度にご注意ください。乾燥温度が70℃以上の場合、製品に変形やワレが発生しますので十分に注意してください。強制乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。
- 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
取付けの際は作業環境と製品・車両の表面温度が20℃以下にならない環境で作業してください。
温度が低い時は製品と車両の表面温度が20度以上になるように暖めて、取付け作業を行ってください。
- 両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要になります。製品の取付け後は、最短3時間程度は、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品のハガレやウキなどの不具合の原因になります。

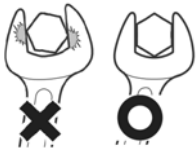
LEDデイタイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❶ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❷ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



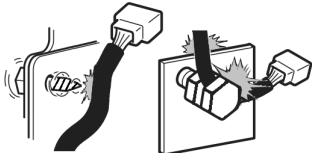
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。

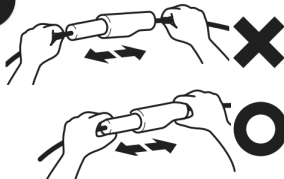


部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

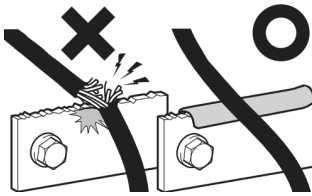


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

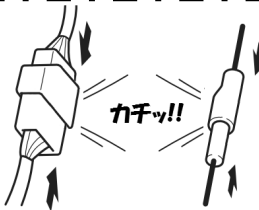


配線の取りまわしは

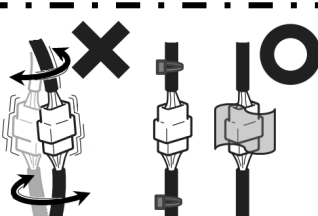
- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように、確実に固定する。

⚠ 注意



バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

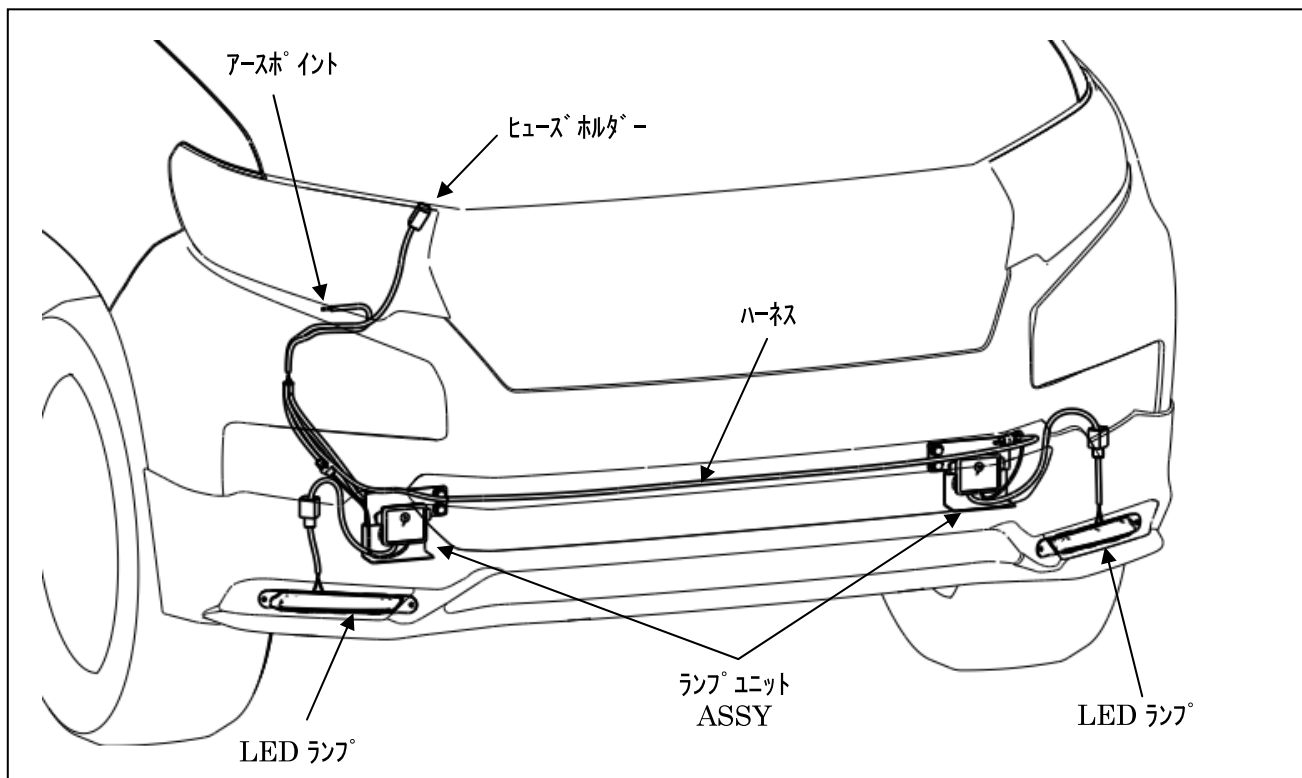
■目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
 2. 取扱い上のご注意(お客様へ) 2
 3. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 3
 4. 配線取付け上の注意 4
 5. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、配線概要図 5
 6. 取付け要領 6～12
 7. 取付け後の確認・点検 12
 8. 回路図 12

■取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・ドリル・キリ・ホールソー・ケガキ針
- ・ 保護シート・保護テープ・ビニールテープ・マスキングテープ
- ・ ホワイテガソリン又はイソプロピルアルコール (IPA)・清潔なウエス

■配線概要図



■ LEDデイタイムランプ取付けについて

下記は、LEDデイタイムランプの取付け準備・配線取廻し作業を記載しています。

該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

□取付け準備

1. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーカバーを取外す。
2. 図1のように、LEDランプ配線をコネクターより30mmの位置から100mmにカットしたコルゲートチューブ⑬を取付けてビニールテープで固定する。(左右各1箇所)

👉ポイント

コルゲートチューブへのビニールテープの巻きつけは、ハーフラップで巻きつけてください

3. 図1のように、LED配線2本をビニールテープで束ねる。(左右各1箇所)

4. 図2のように、LEDランプ①②にランプリテーナー③④をタッピングスクリューA⑧2本で組付ける。(左右各1個)

5. 図3のように、ランプユニット⑤にユニットブラケット⑥⑦をタッピングスクリューA⑧2本で組付ける。(左右各1個)

図1

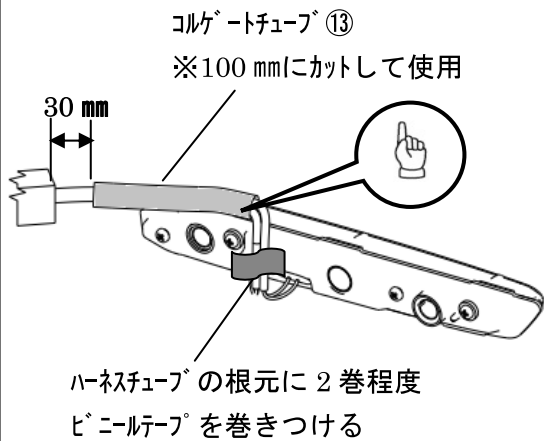


図2

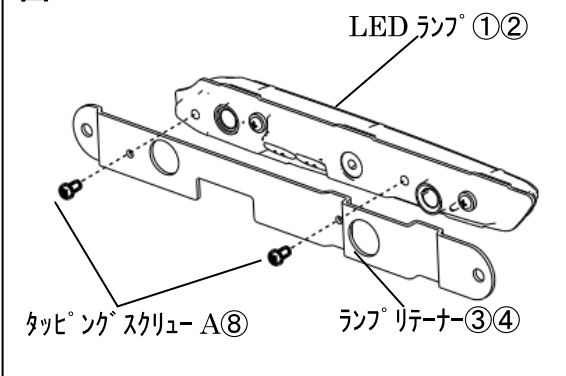
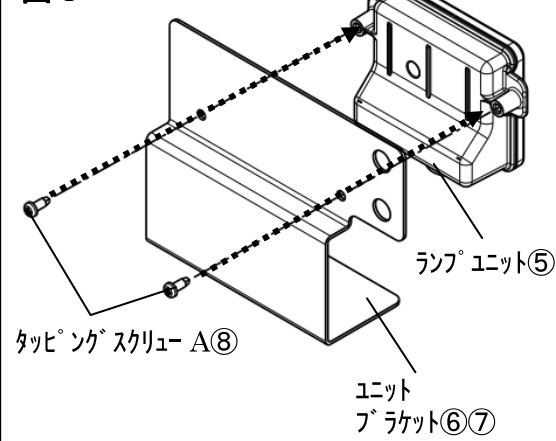
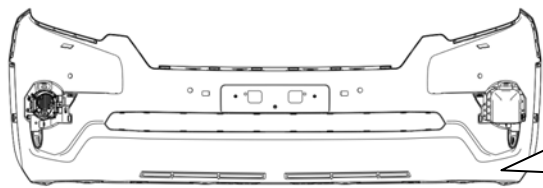


図3

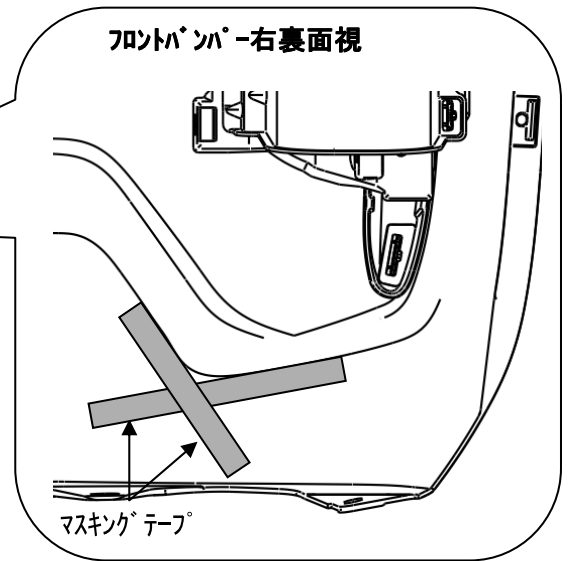


6. 図4のように、取外したフロントバンパーカバー裏側の形状に合わせマスキングテープを貼り付けてマーキングをする。

図4 フロントバンパー 裏面視

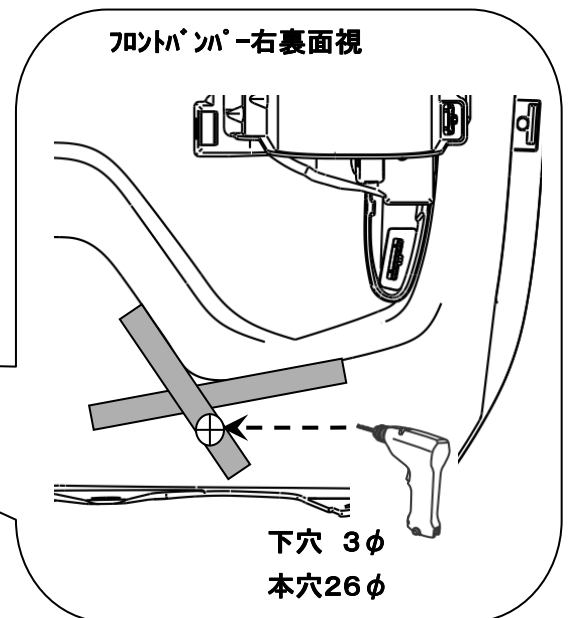
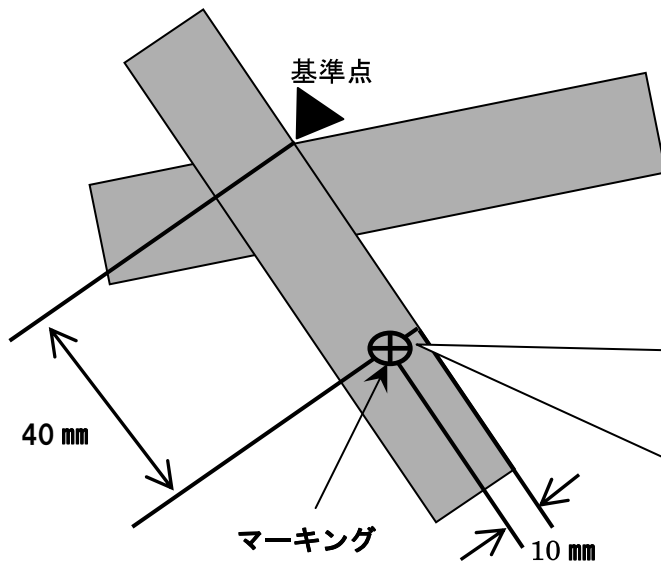


フロントバンパー裏側の形状に合わせ
マスキングテープを貼り付ける。
LHも同様に行ってください。



7. 図5のように、マスキングテープの交差点を基準点として寸法を計測してマーキングする。
(左右各1箇所)
8. 図5のように、マーキングした位置に、3φの下穴をあけて、26φのホルソーを使用して通線穴をあけて、穴のバリを取り除く。
(左右各1箇所)

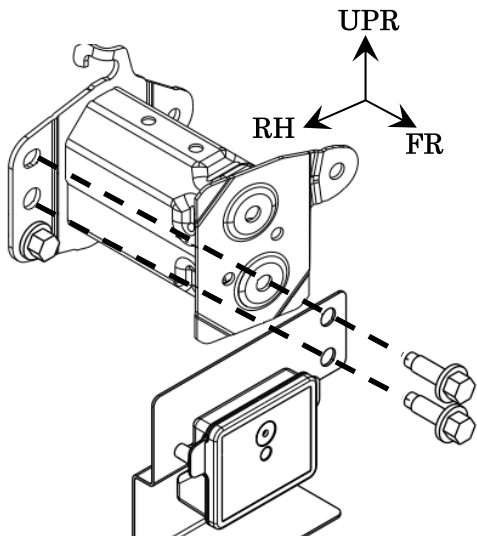
図5 マーキング部位 拡大図



▲ 注意

穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にしマーキング位置からズレないように注意してください。
作業時は、必ず保護メガネを着用し、ケガなどに十分注意してください。

図6 右フロントバンパー-エクステンション取付部



フロントバンパー-エクステンション取付ボルト
3本の内、上側2本を取り外し、
ランプユニット ASSY を共締めで取付ける。

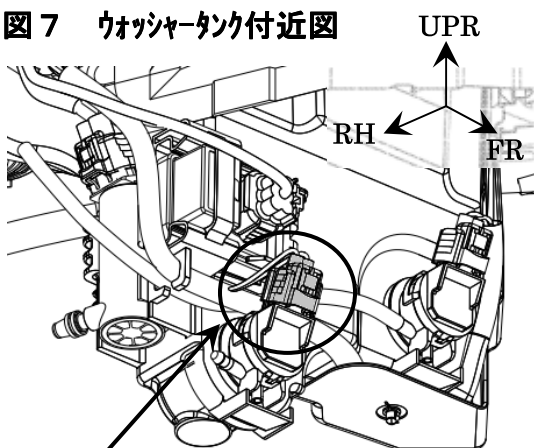
※本取付・取扱要領書は、主にRHを示しております
LHも同様に行ってください。
取付け位置の概要は配線概要図(本書5ページ)を参照

□ハーネス・ランプユニットの取付け

1. 図6のように、フロントバンパーエクステンションの取付け部の車両ボルト2本を取外し、取外した車両ボルトを使用してランプユニット ASSY を取付け、規定トルクで締付ける。

【締付トルク：65N・m】

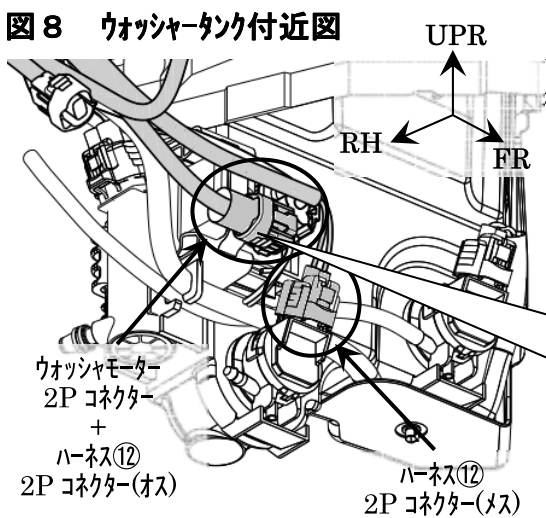
図7 ウォッシャー-タンク付近図



フロントウォッシャー-モーター
コネクタ-

2. 図7のように、フロントウォッシャーモーターの2Pコネクタ-(車両外側)を取外す。

図8 ウォッシャー-タンク付近図



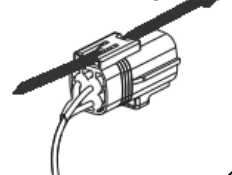
ウォッシャー-モーター
2P コネクタ-
+
ハーネス⑫
2P コネクタ-(オス)

ハーネス⑫
2P コネクタ-(メス)

3. 図8のように、取外したフロントウォッシャーモーター2Pコネクタ-を、ハーネス⑫の2Pコネクタ-(オス)に接続し、ハーネス⑫の2Pコネクタ-(メス)をフロントウォッシャーモーターに接続する。

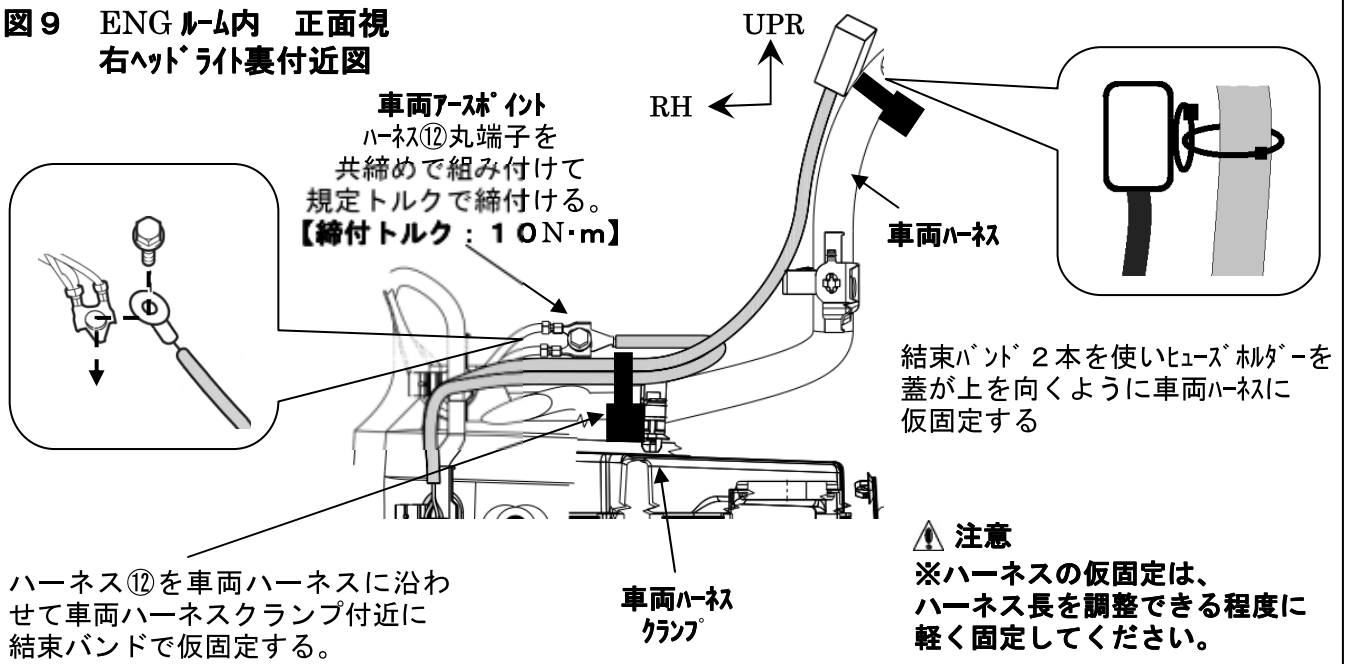
4. 図8のコネクタ-部に、下図のように結束バンド⑮を通して、ハーネス⑫をウォッシャー-タンクに固定する。

結束バンド⑮



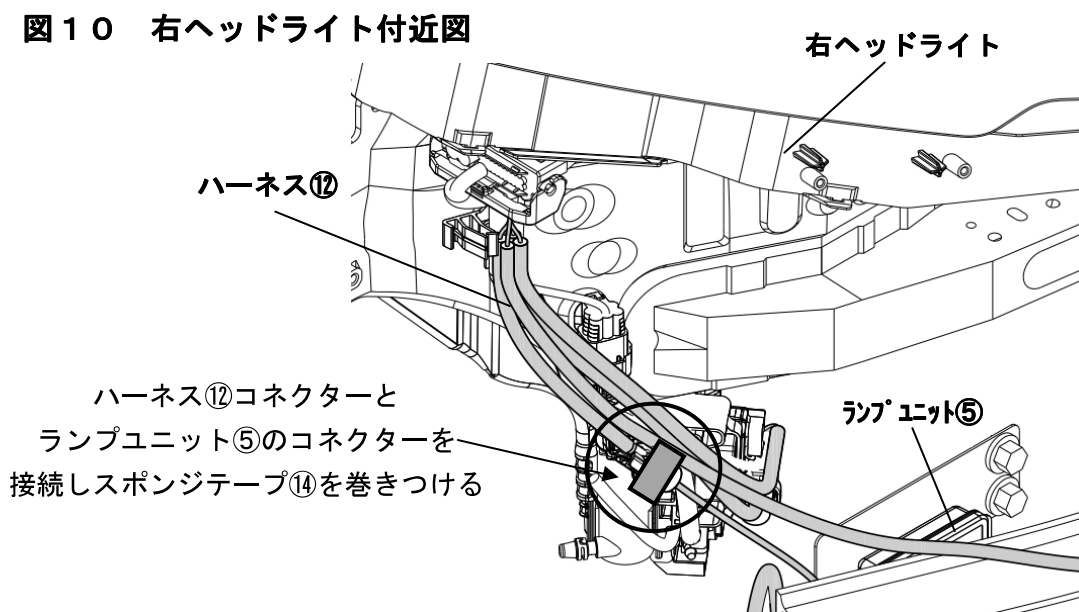
4. 図9のように、ハーネス⑫のヒューズホルダーと丸端子を右ヘッドライトの下側を通して車両ハーネスに沿わせてエンジンルーム内に配置する。
5. 図9のように、車両アースボルトを一旦取り外し、ハーネス⑫の丸端子と共締めで組み付けて規定トルクで締付ける。 **【締付トルク：10N・m】**
6. 図9の拡大図を参考に、結束バンド⑮2本を使用してヒューズホルダーのフタが上を向くように配置して車両ハーネスに仮固定する。
7. 図9のように、車両ハーネスに沿わせたハーネス⑫を、車両ハーネスクランプ付近で仮固定する。

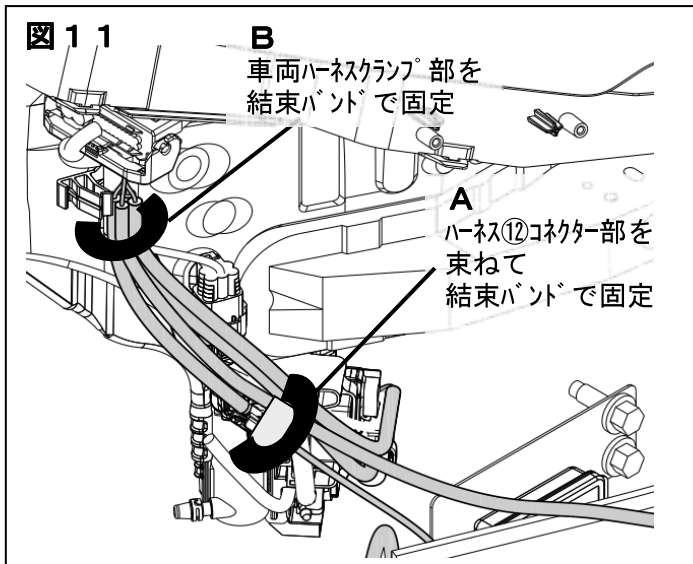
図9 ENGルーム内 正面視
右ヘッドライト裏付近図



8. 図10のように、ハーネス⑫を右ヘッドライト下に配置し、ハーネス⑫とランプユニット⑤の2Pコネクターを接続する。

図10 右ヘッドライト付近図



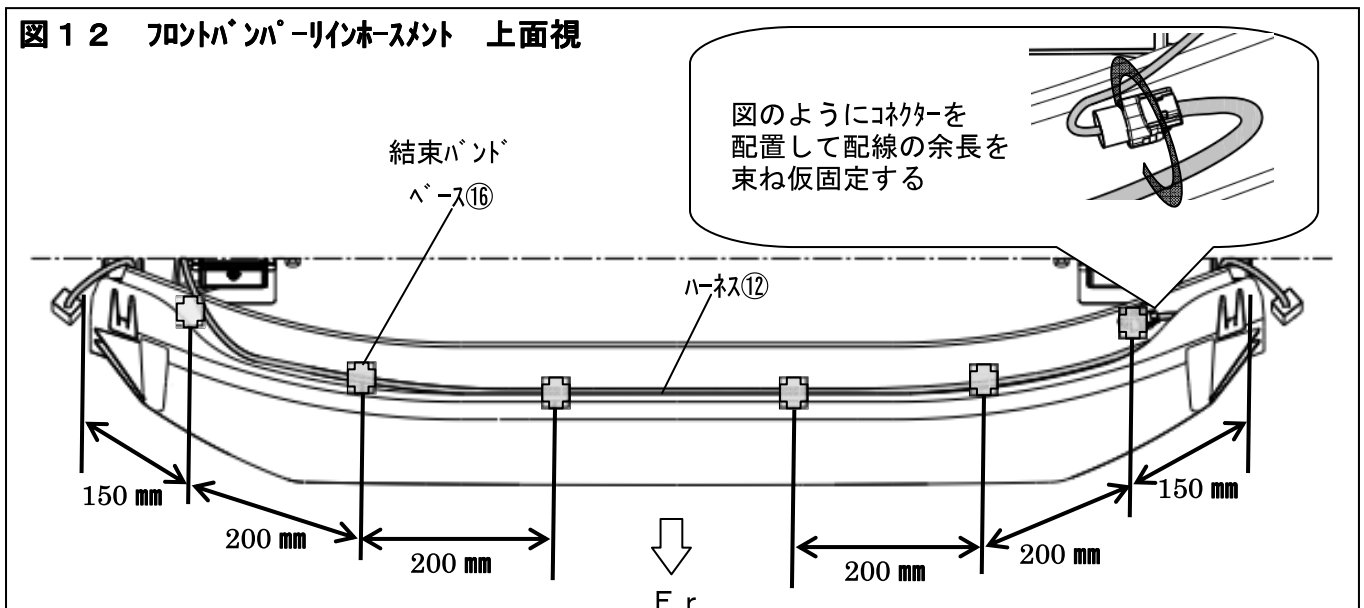


9. 図 1 1 のように、A 部をハーネス⑫とランプユニット⑤を接続したコネクタ部にスポンジテープ⑭を巻き付け、結束バンドを使用して車両ハーネスにハーネス⑫を束ねて固定する。

10. 図 1 1 のように、B 部のハーネス⑫を車両ハーネスクランプ付近に結束バンドを使用して、車両ハーネスに束ねて固定し前作業 7. で仮固定したエンジンルーム内の結束バンドを締めて本固定する。

- 1 1. 図 1 2 のようにフロントバンパーラインホース端末から寸法計測する。 (6 箇所)
- 1 2. 図 1 2 のように計測した部位を脱脂を行い、結束バンドベースを貼り付ける。 (6 箇所)
- 1 3. 図 1 2 のようにランプユニットの 2 P コネクタをハーネス⑫に接続する。 (LH 1 箇所)
- 1 4. 図 1 2 のようにハーネス⑫を配置し結束バンドで結束バンドベース部に仮固定する。 (6 箇所)

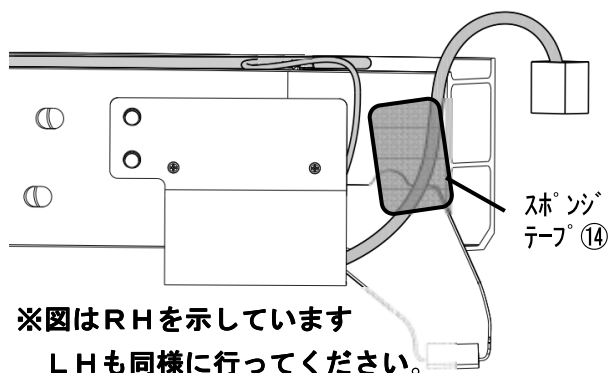
図 1 2 フロントバンパーラインホースメント 上面視



ポイント

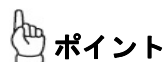
- ・ワイヤーハーネスの仮固定は、通線作業完了後に余長を調整してから本固定しますので締めすぎないように注意してください。

図13 ランプユニット付近 裏面視



15. 図13のように、フロントバンパーラインホース裏を脱脂し、LEDランプ行きハーネスをスポンジテープ⑭を貼付けて固定する。

16. ハーネス⑫の線長を調整して、仮固定した各部の結束バンドを締めて本固定する。

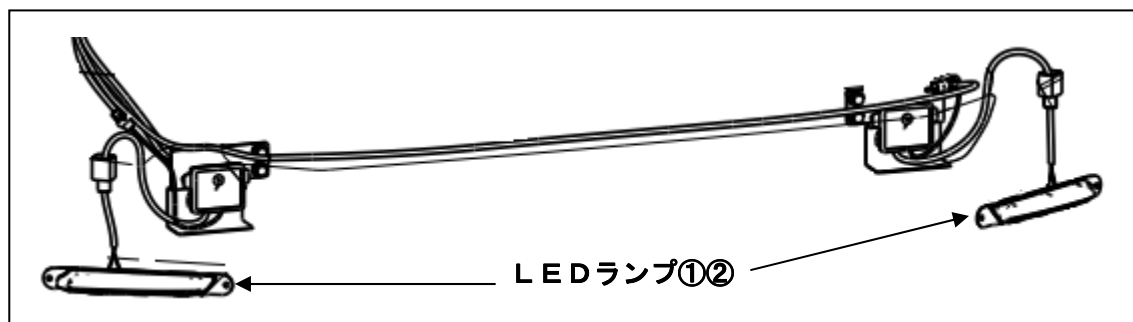


ポイント

- ・ハーネスの本固定は、ハーネスが動かない程度に軽く締付けて、締めすぎに注意してください。

■ LEDランプ点灯確認

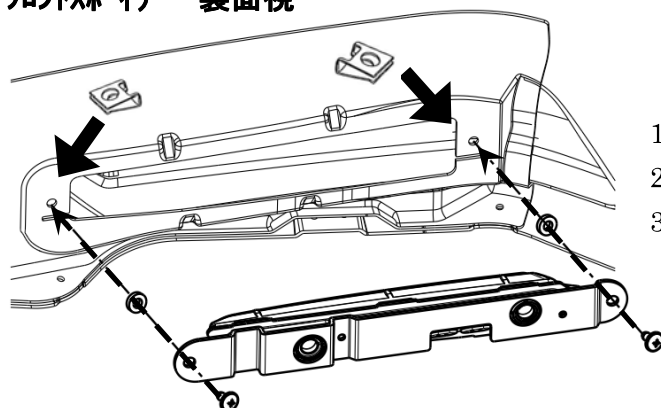
通線作業が完了したら、LEDランプをハーネスに繋ぎマイナスターミナルを接続してイグニッションをONにしてLEDランプの単体に点灯確認を行ってください。



□ LEDランプの組付け

1. 図14のように、LEDランプ⑫をフロントスポイラーにタッピングスクリューB⑨・Jナット⑩スペーサー⑪を使用して組付ける。

図14 フロントスポイラー 裏面視



- 1) スポイラーにJナットを組付ける
- 2) スポイラーとLEDランプの間にスペーサーを挟む
- 3) タッピングスクリューでLEDランプを組付ける

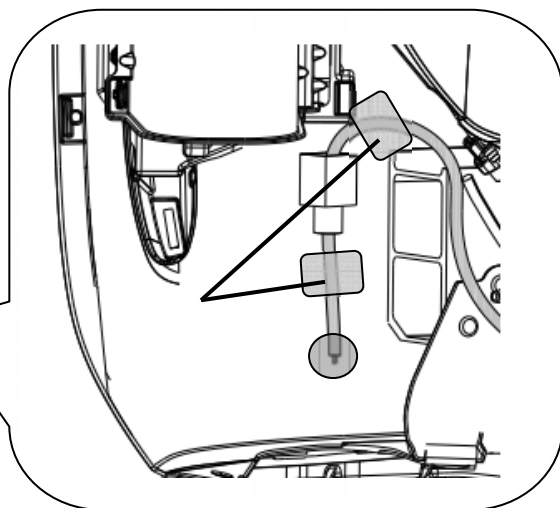
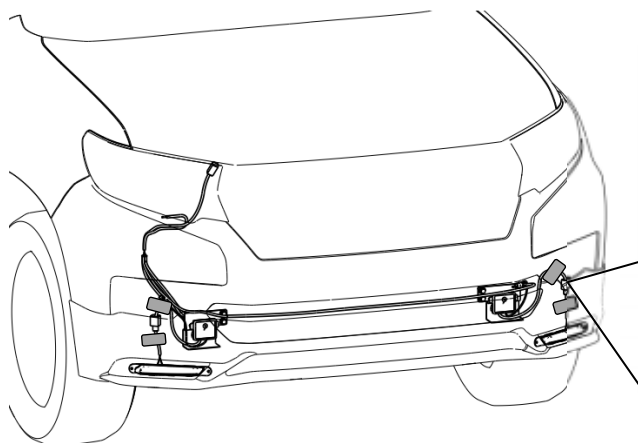
※図はRHを示しています
LHも同様に行ってください。

■ 取付け後の確認・注意事項

- ・タッピングスクリューが確実に、締付けられていることを確認する。
- ・ハーネスに無理な力がかかっていないか、噛み込みや鋭利なエッジ部に干渉が無いことを確認する。

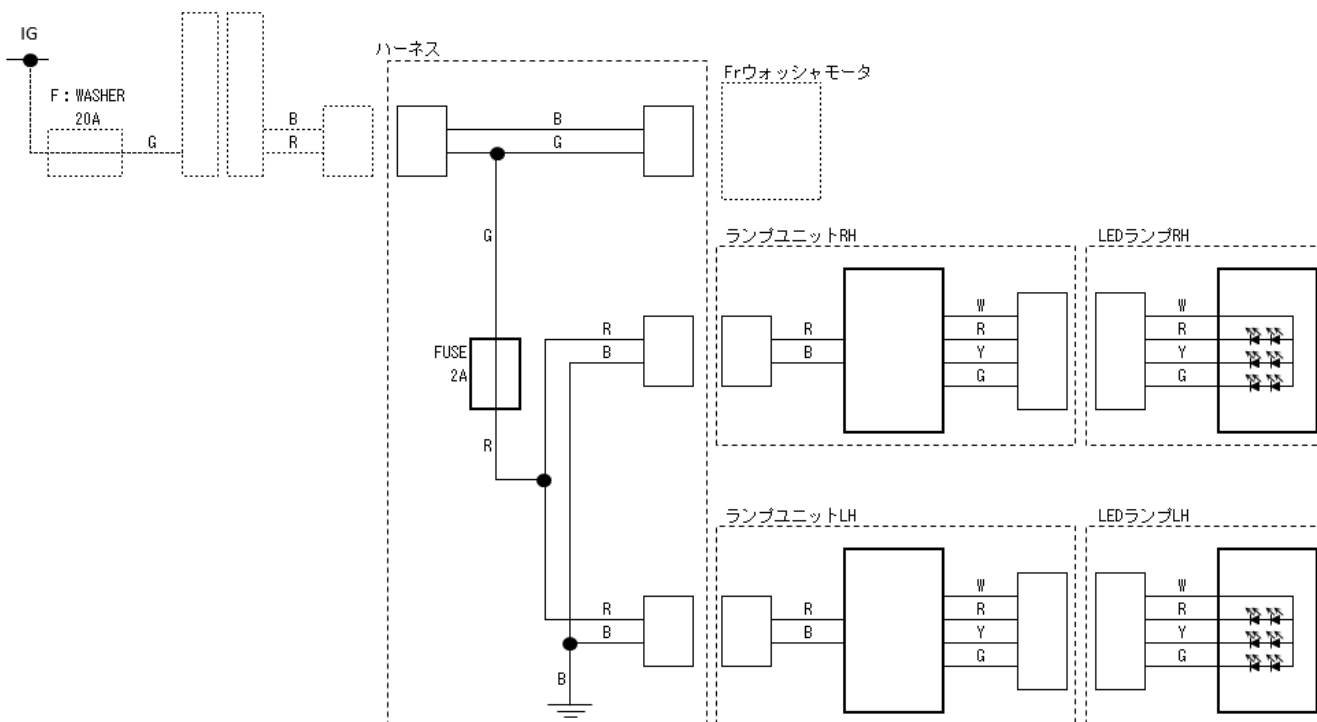
LEDランプをフロントスポイラーに組付けた後に
フロントバンパーカバーを組付けて、フロントスポイラーの
取付要領書に従い、フロントスポイラーを取付けてください。

*アンダーカバーの一部は復元せずにハーネスの固定作業後に復元してください
※フロントスポイラー取付け後に、再度LEDランプの点灯確認及び、下図のように
ハーネスをコネクタの前後をフロントバンパー裏に、スポンジテープ⑭で貼付けて
固定してください。



すべての作業が完了後、⊖バッテリーターミナルの本締め・各種再設定・ダイアグの消去を
修理書に従い行ってください。 【⊖バッテリーターミナルの締付けトルク：5.4 N・m】

■ 回路図



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

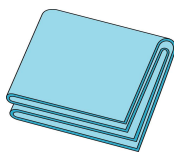


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



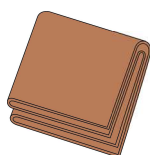
合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



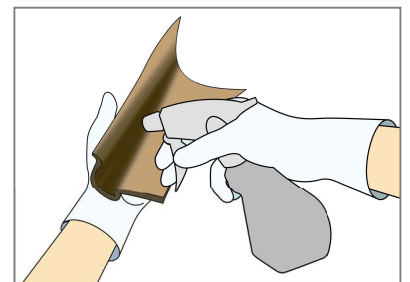
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

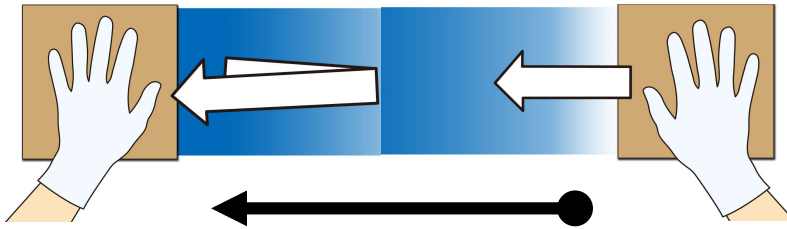
● 取付け面の脱脂作業を行う

① 【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

② 【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

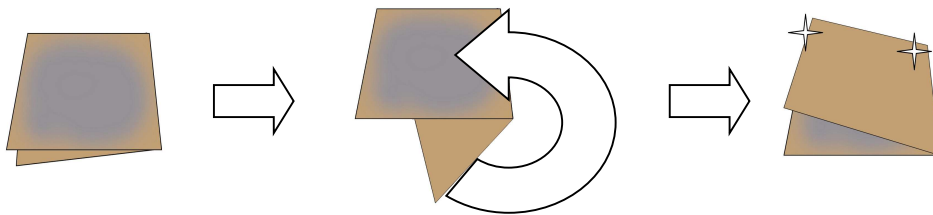
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。